

会議録 ・ 会議要旨

会議名	行政改革推進委員会（第1回）
議題	1、甲州市行政改革大綱（甲州市改革推進プログラム）について 2、資料集の内容について
開会日時	平成18年5月24日（水） 午後1時30分～3時30分
開会場所	甲州市役所本庁舎 第一会議室
出席委員名	吾妻治光、高野泰明、雨宮満彦、石田清子、内山美智子、黒川富代、鈴木正範、中村猛、松吉寛治、三井正美、三森一雄、三森寛、安田暁子、山本純正、若尾保彦
公開の可否 （非公開とした場合はその理由）	公開
傍聴者の数 （公開会議のみ）	なし
議 事	
<p>【議事の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開会の言葉 ○自己紹介 ○会長副会長の選出 会長に吾妻治光氏 副会長に高野泰明氏を選出。 ○市長から委員長に諮問をする。 ○事務局 資料1の説明をする。 ○委員 市の出席者を聞きたい。 ○事務局 出席職員は総務部長、総務課長、総合政策課長、総合政策課長、総合政策担当である。事務局は総合政策課総合政策が担当する。ただし、会の要請により関係職員が出席して説明することもできる。 ○委員 任期はいつまでか。今年の12月までに最終答申することになっているが。 ○事務局 2年間であり、それまでに答申をいただくこととなる。 ○委員 2年間に5年間で行う計画を議論することになる。早急に取り決めるのは、実施計画までであると思う。委員会では、市民の立場で審議するということになるが、その答申後の役割は何か。 ○事務局 委員会には行政改革の実施状況を説明し、内容に対する意見をいただくことになる。2年任期の終了後は新たな委員を任命することとし、推進委員会は継続していく。 ○委員 これは第1次計画であり、第2次、第3次と継続していくと考えていいか。 ○事務局 そのとおりである。 ○委員 社会はめまぐるしく変化するので、2年目は一部修正も必要な状況になると 	

思う。そういう議論も必要ではないか。

【行政改革大綱素案Ⅰについて】

- 委員 素案Ⅰは総論的な書き方であると思う。数値的なもの、具体的な資料も示してほしい。
- 事務局 次回は財政数値的な資料をお示ししたいと考えている。素案Ⅰは総論的な表現であるが、素案Ⅱの実施計画の部分は、行政改革の具体的な内容となる。実施計画については職員間でつめなければ委員会に提示はできない。次回の会議にもまだ提案できる状況にはならないと思う。3回目の会議では提示していきたい。
- 委員 予算状況等の数値もわからない。概ねの行政形態は理解しているが、詳しい行政の実情は理解していない。学習する資料として提示いただくと、例えばA施設はB施設がその役割を担えるという議論もできると思う。わからないと抽象的な議論となり、実践的な議論まで進まないのではないと思う。財政状況も示してほしい。
- 事務局 数値的なデータは議論を深める上で必要不可欠である。できる限り提示していきたい。
- 委員 自ら市の状況について学び、この委員会に参加する姿勢が必要だと思う。全員が発言できるような会の運営をしてもらいたい。市民の意見を生かす仕組みとしてパブリックコメントもある。合併の説明会には参加者が少なく、市民の行政に参加しようという意思が希薄に感じた。市民ニーズをとらえることは大切なことなので、地域協議会、総合計画審議会にも説明しながら、地域に出向いた出前講座で説明することも考えねばならないと思う。市役所の人事は2年サイクルが多い。専門性を高めることも必要であり、4年、5年のサイクルでの人事異動としてほしい。優秀な職員を評価するシステムも大事だと思う。
- 委員 短い期間での審議は難しいのではないか。
- 事務局 時間を掛けてじっくり作成するのもひとつの考え方であるが、行革はまったなしであり、2年、3年掛けて作成している余裕はない。職員も努力していく。事前に資料も配布し、会議では濃縮された議論ができるよう対応させていただく。計画決定を待たず、すぐにでも実施していかねばならない事項もある。集中改革プランは8月には仕上げていく。来年度の予算編成にも生かさねばならない。
- 会長 次回からは事前に資料も配布されるので、よく目を通してもらい活発な議論ができるようにしてもらいたい。

【その他】

- 事務局 次回の会議日程は、会長、副会長と協議し決定したい。
- 委員 民間ではどう利益を上げるかを考えるが、行政運営は限られた財源で市民サービスを行うことになる。甲州市の予算は160億くらいであるが、何%削減をすべきなのか、5%で8億であるが、こうした数値目標も必要だと思う。全体で5%のカットが達成できるが、それによって行政サービスが低下する部分もある。部分的には10%削減されるものもあると思う。その点も分科会で議論されているのかどうか。データも示してほしい。我々の報酬についても、甲州市をよくしようと

て行革の会議に出席しているのであり、果たして、これをいただかないといけないのか。これも削減の対象だと思う。様々な審議会があるが、果たして委員報酬を支出しなければいけないのか。そういうものから削減しないといけない。民間では削るものは削り、収益を上げる努力をするが、産業振興も難しい課題であろう。難しい議論より単純な発想から入ることが望ましいと思う。

○会長 基礎資料はどうするのか。

○事務局 基礎資料も提出していきたい。何%カットするのかについては、集中改革プランの中で可能なものは数値を提示していく予定である。予算の積み上げの中で何%カットという数値が出ると思っている。財政課において平成19年度は18年度に比較し予算を何%カットしないと予算が組めない、という状況もあると思うので検討していきたい。可能なものは数値目標を掲げることが前提である。報酬の問題についても委員会から意見をいただきたい。細かい部分は職員間で事務事業の見直しを行う中で検討していく。実施計画は分かりやすい単純な書き方になるが、大綱については理念的な表記となっている。

○委員 わたしに関心あるのは素案Ⅱである。それに意見を言いたいと思う。少しでも早く素案Ⅱを作成してもらい、その部分の議論に時間を掛けていきたい。昼間の会議であるが、できれば夜間の開催も望む。

○事務局 早く提出できるよう努力したい。会議の開催時間については委員会で決定してほしい。

(夜間の出席は無理、土日の開催を望む等の意見あり。)

○委員 開催時間は会長に一任することでどうか。(一同了承)

○委員 開催日が決定したら、資料配布前に事前に連絡してほしい。

その他必要な事項	
問い合わせ先	総合政策課 総合政策担当